

SOMPOホールディングス

サステナビリティ レポート 2024

イントロダクション

編集方針

SOMPOのパーパス

SOMPOグループについて

目次

グループCSuOメッセージ

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

ガバナンス

データ等

編集方針

編集方針

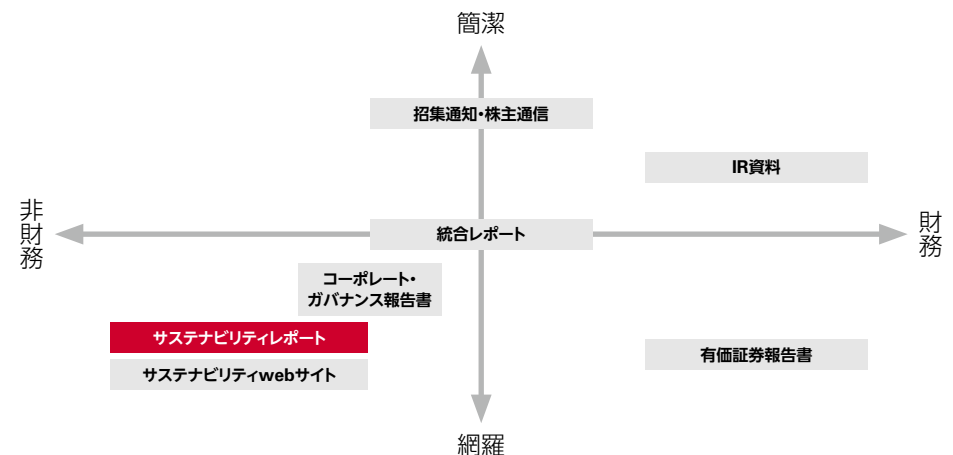
「SOMPOホールディングス サステナビリティレポート2024」では、主に当社グループの環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)の取組みを、株主・投資家・お取引先をはじめとする幅広いステークホルダーの皆さまにお伝えすることを目的としています。

作成にあたっては、すべてのステークホルダーの皆さまとのエンゲージメントツールとして活用するため、国際的なガイドラインである「国連グローバル・コンパクト」や「GRIスタンダード」などを参考にしています。

情報発信の全体像

サステナビリティレポートは、当社グループの直近のサステナビリティ情報を体系的かつ網羅的にまとめた媒体です。

同時公開している統合レポート2024とあわせてお読みいただくことで、当社の経営戦略との関連性とともに、ESGの取組み進捗・データをご確認いただけます。



Web 参考情報

- [統合レポート2024](#)
- [サステナビリティwebサイト](#)
- [IR資料室](#)
- [コーポレートガバナンス報告書](#)
- [有価証券報告書](#)

報告対象期間

原則として2023年度(2023年4月～2024年3月)。最新の状況をお知らせする目的で直近の活動についても掲載しています。

報告対象範囲

SOMPOホールディングス株式会社、国内外のグループ会社。一部、事業会社の代理店およびそれらの全国組織の取組みを含みます。

「サステナビリティレポート2024」の発行時期

日本語版：2024年8月 英語版：2024年9月～10月(予定)
(前回発行時期:2024年3月)

参考ガイドライン

- GRI (Global Reporting Initiative) スタンダード
- ISO 26000 (社会的責任の国際規格)
- SDG Compass:SDGsの企業行動指針—SDGsを企業はどう活用するか—
- TCFD提言
- ISO 14064-1 (組織における温室効果ガスの排出量及び吸収量の定量化及び報告のための仕様並びに手引)
- NSC「サステナビリティ報告ガイドライン SPI報告解説書」
- 国連グローバル・コンパクトの10原則
- 国連「ビジネスと人権に関する指導原則(ラギー・フレームワーク)」
- 日本経団連「企業行動憲章」および「企業行動憲章」実行の手引き(第9版)

企画・編集・お問い合わせ先

SOMPOホールディングス株式会社 サステナブル経営推進部
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL:03-3349-3000(代表)

免責事項

サステナビリティに関する情報発信は、当社グループの経営方針や計画などに基づいた将来予測が含まれています。これらは記述した時点で入手できた情報に基づいて作成しているものです。したがって、実際の業績や活動計画は、将来の経営環境によって影響を受ける可能性があります。

サステナビリティ レポート 2024

イントロダクション

[編集方針](#)
[SOMPOのパーパス](#)
[SOMPOグループについて](#)
[目次](#)
[グループCSuOメッセージ](#)
[SOMPOのサステナビリティ](#)
[SOMPOの価値創造の全体像](#)
[環境](#)
[社会](#)
[ガバナンス](#)
[データ等](#)

SOMPOのパーパス

あらゆるステークホルダーに一層ご理解いただけるよう、SOMPOのパーパスを再言語化し、「“安心・安全・健康”であふれる未来へ」としました。

この新たなパーパスには、保険だけにとどまらない“安心・安全・健康”に資するサービスを提供し、未来を切り拓いていくという

当社グループの想いを込めています。

このパーパスの実現に向けた取組みを進めるにあたって、SOMPOグループすべての役員・社員が大切にしたい価値観として、

「誠実」「自律」「多様性」の3つを定めました。

この「SOMPOの価値観」を私たちの判断・行動の拠り所として、SOMPOのパーパス実現に向けて取り組んでいきます。

SOMPOのパーパス

“安心・安全・健康”で あふれる未来へ

SOMPOの価値観

誠実

社会や人に対して
正しいことをする

自律

前例に捉われず、
自ら考え、自ら挑む

多様性

多様な意見を歓迎し、
想いを受けとめる



サステナビリティ レポート 2024

イントロダクション

[編集方針](#)[SOMPOのパーパス](#)[SOMPOグループについて](#)[目次](#)[グループCSuOメッセージ](#)[SOMPOのサステナビリティ](#)[SOMPOの価値創造の全体像](#)[環境](#)[社会](#)[ガバナンス](#)[データ等](#)

SOMPOグループについて

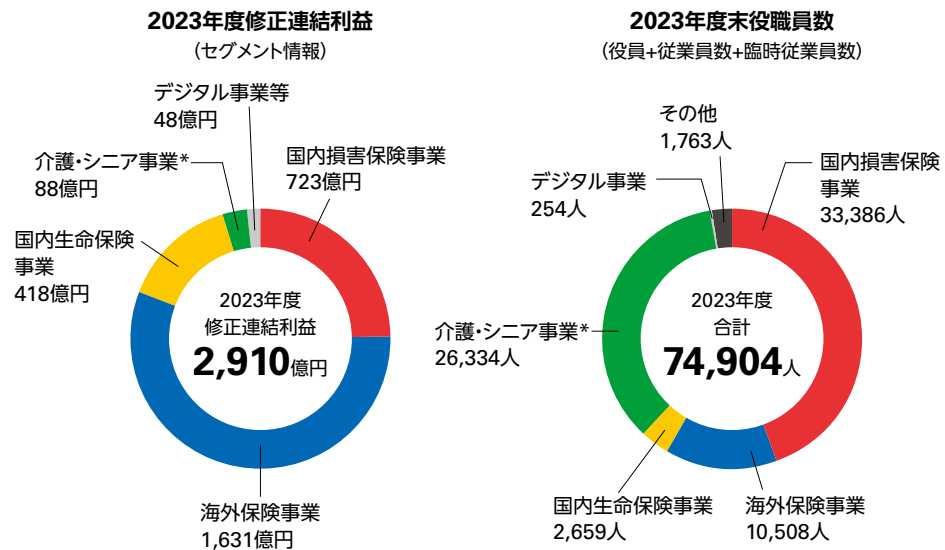
SOMPOグループの事業

事業の構成

当社グループは、国内損害保険事業、海外保険事業、国内生命保険事業、介護事業をコア事業として事業戦略を展開しています。



Web 参考情報 [グループ会社紹介](#)



*介護・シニア事業は2024年4月1日付けで「介護事業」に改称しています。

国内損害保険事業

グループの中核会社である損害保険ジャパンを中心に、ダイレクト販売のセゾン自動車火災保険、確定拠出年金事業を展開する損保ジャパンDC証券、リスクマネジメントサービスを提供するSOMPOリスクマネジメントなどから構成されており、国内のお客さまに対してニーズに合わせた商品・サービスの提供を行っています。

海外保険事業

海外保険事業はSOMPO International Holdings Ltd.を中心に米国、英国、欧州大陸、中南米、中東、アジア等で事業を展開しています。グループの成長ドライバーとして、事業規模・収益性ともに着実な成長を続けており、世界の損害保険市場における大手プロバイダーの地位を築いています。

国内生命保険事業

SOMPOひまわり生命は、保険本来の機能である「万が一」への備え(Insurance)に加えて、「毎日」に寄り添い健康を応援する機能(Healthcare)を組み合わせた新たな価値「Insurhealth®(インシュアヘルス)」を提供し、お客さまが健康になることを応援する「健康応援企業」の確立を目指しています。

介護事業

SOMPOケアを中核とし、在宅から施設までフルラインナップの幅広いサービスを提供するとともに、デジタル・データの活用などを通じ、社会課題である介護人材の需給ギャップ拡大の解消にチャレンジしています。

2024年度～2026年度の中期経営計画においては、「レジリエンスのさらなる向上」と「つなぐ・つながる」をゴールと位置づけ、信頼回復とレジリエンス向上に取り組む国内損害保険事業、グループの規模の拡大と成長を牽引する海外保険事業、国内生命保険事業と介護事業において中長期の成長の牽引役を担うウェルビーイングという3つの事業領域を中心に、持続的な企業価値向上を追求していきます。

サステナビリティ
レポート
2024

イントロダクション

- 編集方針
- SOMPOのパーパス
- SOMPOグループについて
- 目次
- グループCSuOメッセージ

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

ガバナンス

データ等

目次

イントロダクション

- 1 編集方針
- 2 SOMPOのパーパス
- 3 SOMPOグループについて
- 4 目次
- 5 グループCSuOメッセージ

SOMPOのサステナビリティ

- 6 SOMPOのパーパスとパーパスに込めた想い
- 7 パーパスに込めた想いの導出プロセス
- 9 サステナビリティに関するビジョン・方針・ポリシー
- 11 サステナビリティ推進体制
- 12 サステナビリティのあゆみと
主な取組みのインパクト
- 13 ステークホルダー・エンゲージメント
- 14 イニシアティブへの参画

SOMPOの価値創造の全体像

- 16 SOMPOのパーパス実現に向けた
価値創造ストーリー

環境

- 31 グループ環境ポリシー/SOMPO気候アクション
- 32 地球環境問題へのリーダーシップ
- 34 TCFD・TNFD提言への対応
- 49 気候変動関連の取組み
- 55 自然関連の取組み
- 57 環境分野の人材育成

社会

- 60 DEI (Diversity, Equity & Inclusion)
- 64 人材育成
- 67 人権
- 75 健康経営
- 81 金融包摂・あらゆる人々やリスクに対する保険普及
- 83 防災・減災（自然災害への社会のレジリエンス向上）
- 85 安心・安全なモビリティ社会への貢献
- 88 健康寿命の延伸
- 94 持続可能な社会保障制度への貢献
- 95 お客さまサービスの品質向上
- 98 社会貢献活動
- 105 社会福祉の「活動と研究」を支える取組み
- 107 文化・芸術を通じたコミュニティ・社会への貢献

ガバナンス

- 110 コーポレート・ガバナンス
- 128 コンプライアンス
- 132 ERM (戦略的リスク経営)
- 136 危機管理・事業継続
- 137 ITガバナンス/ サイバーセキュリティ
- 141 ESGリスク管理

データ等

- 143 データ集
- 149 主なグループ会社
- 150 国内損害保険事業のグループ会社
- 151 社外からの評価
- 153 ステークホルダー資本主義メトリクス (SCM) 対照表
- 158 GRI内容索引
- 171 SOMPOグループのCSR・サステナビリティへの
取組みに対する第三者意見

SOMPOホールディングス

サステナビリティ レポート 2024

イントロダクション

編集方針

SOMPOのパーパス

SOMPOグループについて

目次

グループCSuOメッセージ

SOMPOのサステナビリティ

SOMPOの価値創造の全体像

環境

社会

ガバナンス

データ等

グループCSuOメッセージ



グループCSuO
下川 亮子

自動車保険金不正請求問題への対応や保険契約の保険料の調整行為に関する問題を通じて、当社を含む損害保険業界の価値基準が世間の常識からかけ離れたものであったことをあらためて認識しています。企業は社会のなかにおいてステークホルダーから影響を受け影響を与える存在であり、常にステークホルダーと向き合い、自社のビジネスのあり方を見直していかなければならないと考えています。そのことが自社の中長期的な成長だけでなく、社会の持続可能性を高めることにつながっていきます。

ステークホルダーの声に耳を傾けそれを社内での意思決定に反映していくことや、グループの社員がステークホルダーとの関わりの重要性を理解し、自らの行動を通じて社会にポジティブな影響を与え、またそれによって誇りを感じられる会社となれるよう経営陣の一人として取り組んでいきたいと考えています。

当社は、2021年に「SOMPOのパーパス」とともに7つのマテリアリティを公表しました。当社においてはマテリアリティを「パーパス実現に向けた重点課題」と位置づけ、当社グループが社会に価値を提供し続けるために取り組んでいかなければならないマテリアルな課題を掲げました。

2024年度からの中期経営計画の検討にあたって、外部環境の変化や一連の問題を通じて明らかになった課題などの内部環境をふまえ、お客さま、投資家、NPO/NGO、国内外の専門家といった外部ステークホルダーとの対話を行いました。また「“安心・安全・健康”であふれる未来へ」とパーパスを再言語化するとともに、経営メンバー間では、パーパスを実現するとはどういうことなのか、私たちが長期視点で目指す姿やそのために取り組むべきマテリアルな課題は何かについて何度も議論いたしました。それらを集約して言語化したものが「パーパスに込めた想い」です。

この「パーパスに込めた想い」のベースには、私たちが解決を目指すマテリアルな課題が内在しています。その検討プロセスでは各事業CEOが加わり、自社が向き合う課題とその解決に向けた具体的なアプローチや到達点を定めており、各事業はこの3年間実践に取り組んでいきます。

当社グループがステークホルダーの皆さまからの信頼を取り戻し、社会から必要とされる存在となるためには、多様な事業の多様な役員・社員がSOMPOのパーパスの実現に向かって一丸となって取り組んでいくことが重要と考えています。一人でも多くの社員が自らの想いとグループの想いを重ね合わせられるよう、グループの各社とも連携して取り組んでいく所存です。

今回のレポートの発行にあたっては、当社グループのステークホルダーの一人であるIIHOEの川北秀人様に第三者意見の執筆をお願いいたしました。執筆にあたって、グループ内のさまざまな部門と対話をいただき、私たちに対する期待や課題の解決に向けたアドバイスなども頂戴しました。ご指摘いただいている課題を通じて、顧客視点で物事を考え進めていく重要性をあらためて認識しており、各事業としっかりと連携して改善を図っていききたいと考えています。

本レポートは、当社グループの価値創造、環境・社会の取り組みなどを網羅的に掲載しステークホルダーの皆さまにわかりやすくお伝えできるように作成したものです。信頼回復に向けた取組みや成長戦略をお伝えする統合レポート2024とともにご覧いただけますと幸いです。また当社グループの取組みについて、忌憚のないご意見・ご指摘やご感想などがございましたら、お寄せいただけますと幸いです。

最後になりますが、第三者意見を執筆いただきました川北様、当社グループのマテリアルな課題に関する対話に応じていただきご意見いただいたステークホルダーの皆さまにはこの場を借りて御礼申し上げます。